



富山県

No.89 2018年10月

中央植物園だより



第20回私の植物写真展入選作品「すじ雲に向かって」撮影 / 松永 正昭さん

フヨウ（アオイ科）

中国原産といわれ、日本では関東地方以西で栽培が盛んです。園内では8～10月に園芸品種のスィフヨウよりも早く開花します。

クリスマスフェア開催のお知らせ

今年もクリスマスフェアを12月7日(金)～9日(日)の3日間開催します。コンサートやリース作り(有料)などの体験コーナー、クリスマスにふさわしい鉢花・切花、オーナメントの販売コーナーなど、一足早く植物園でクリスマスを楽しみませんか。



開催レポート ゲッカビジン観賞会

今年も7月9日・10日の2日間、夜間開園「ゲッカビジン観賞会」を開催しました。開花当日でないと開花するかどうか分からないことと、何輪咲くかわからないので、毎年担当者を悩ませていますが、今年は昨年よりも多く2日間で約400輪が開花しました。

ゲッカビジンがより美しく見えるように、照明や背景を工夫して温室担当のスタッフ総出で準備しました。



開催が決まり、温室担当スタッフ総出で展示準備。



写真撮影しやすいように黒い布を背景に展示。



今年はドリアスホールにも展示

第21回「私の植物写真展」入賞作品

7月27日～8月22日に開催された第21回「私の植物写真展」の60点の応募作品から選ばれた園長賞（1点）、ドリアス賞（植物園だより表紙採用分を除く8点）を紹介します。



中央植物園長賞・92号表紙作品 竹田恵美子さん「温帯スイレン」



東旬美子さん「ヤマアジサイ」



東陽菜心さん「ムサ・オルタナ」



宮森恵都子さん「ジギタリス」



松島 亨さん「オオヤマレンゲ」



上野敬二さん「雷割草」



千先あつ子さん「トサミズキ」

園長賞以外の「植物園だより」表紙採用作品の掲載予定は、以下のとおりです。

90号：「最後の残雪」小鍛冶秀明さん

91号：「ネコの王冠」作道孝二さん

93号：「明日に向かって」福田修策さん



小林悦子さん「アリウム・ギガンテウム」



岡本忠光さん「温帯スイレン」

二口善雄画伯の植物画に見る園内の植物（6）

富山県中央植物園には、二口善雄画伯（1900-1997）から寄贈された1900点余りの植物画が収蔵されています。その中から、10月から12月の植物を紹介します。



コマユミ・イロハモミジ（1957年11月30日制作）横40cm×縦55cm

コマユミ・イロハモミジ両種とも11月上旬から12月上旬にかけて紅葉します。



ナンテン（制作年月日不明）横40cm×縦55cm

シイ・カシの森で12月上旬ごろから赤くなった果実を見ることができますが、すぐに鳥に被食されます。



ウンシュウミカン（1972年12月5日制作）横40cm×縦55cm

くずりの植物コーナーで11月下旬から果実を見ることができます。

富山の植物 ◎『ヒシ』

栽培展示課主任 東 義詔

中央植物園の南池・北池に繁茂し、その除去は悩みの種になっています。ヒシ *Trapa japonica* Flerov はミソハギ科の浮葉性の一年草で、全国の湖沼、ため池、河川、水路の淀みなどに生育しています。中～富栄養水域を好み、異常繁茂する例も見られ、当園もこの一例と考えられます。

7月から10月にかけてヒシ群落の水面には、ところどころに白い花が見られます。ヒシは厄介者ですが、なかなか可憐な花をつけ（写真1）、花はがく4個、花弁4個、雄しべ4個、雌しべ1個からなります。花は一日でおれ、果実が水中で熟します。

暖かい地域ではヒシの仲間は同じ群落の中で、複数の種が混生することがあります。それらは、果実の形で見分けることができますが、果実がないと同定は難しいといわれています（写真2）。ヒシは他の水草を駆逐する勢いで繁茂する場所もありますが、最近は、生育環境の変化で減少傾向といわれています。富山県も例外ではなく、かつて県中部から西部の湖沼やため池でふつうに生育していましたが、生育場所自体が少なくなりました。ちなみに、菱形の語はこの葉の形に由来するといわれています（写真3）。



写真1. ヒシの花：花の大きさは約1cm



写真2. ヒシの果実：果実の刺形状は、変異が大きい。



写真3. 菱形の由来といわれる葉

【訂正】前号88号の「富山の植物」の写真1と写真3が入れ替わっておりました。訂正しお詫びします。

パラゴムノキが24年目で初開花

今年7月下旬ごろから熱帯雨林植物室のパラゴムノキが、1994年に導入してから24年目にして初めて開花しました。現在樹高12mほどに成長し、ようやく開花サイズに達したと考えられます。花の咲いている位置が高いので、展望デッキに上ってやっと写真のような花を撮ることができました。

パラゴムノキからは我々の生活に欠かせない工業用ゴムの原料となる樹脂“ラテックス”が採れます。いわゆる天然ゴムといわれているもので、車のタイヤにはなくてはならないものです。

パラゴムノキはブラジルのアマゾン川流域の熱帯地域原産ですが、現在はタイやインドネシアなどで大規模にプランテーション栽培され、天然ゴムとして輸出されています。



写真 熱帯雨林植物室のパラゴムノキ（上）と花の拡大（左）

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

特別展「リンゴ展ーリンゴ図鑑 111」

10月5日（金）～11月18日（日）

第12回秋のラン展

11月23日（金・祝）～11月25日（日）

クリスマスフェア

12月7日（金）～12月9日（日）

花と緑のコンクール入賞作品展

12月14日（金）～12月26日（水）

第6回新春カトレヤ展

1月11日（金）～1月14日（月・祝）

■講演会

第26回 TOYAMA 植物フォーラム

「リンゴの種類とその利用」

11月11日（日） 13:00～16:00

会場：管理研修棟研修室

■講座・講習会

栽培講習会

「ランの栽培と管理」

11月24日（土）・25日（日）

両日とも 13:30～15:00

会場：ドリアスホール（入園料が必要です）

植物園でバードウォッチング

12月9日（日） 9:00～11:30

（入園料が必要です）

■ボタニック・ガーデニングクラブ

（高校生以上対象、定員に達し次第締切）

（入園料が必要です）

リンゴでフルーツカービング ◎要申込

10月14日（日） 13:30～15:30

定員：15名

参加費：500円

ミニ門松づくり

◎要申込

12月23日（日） 10:00～11:30

定員：15名

参加費：500円

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

第1,2,4日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール

ー園長と歩く植物園ー

第3日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール

緑のコンサート

10月6日（土）、11月3日（土・祝）

14:00～15:00

◎要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から前日までに「電話」でお申込ください。

■協力行事（主催：とやま健康パーク）

ノルディックウォーキング

in 富山県中央植物園

11月7日（水）

お問合せ・お申込み

とやま健康パーク

TEL 076-428-0809



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00（入園は16:30まで）
（11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで）

休園日 毎週木曜日

（4月第1,2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園）

年末年始（12月28日～1月4日）

入園料 大人（一般および大学生）500円
団体料金（20名以上）400円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料

冬期入園料（12月～2月）

大人（一般および大学生）300円

団体料金（20名以上）240円

高校生以下ならびに70歳以上通年無料

年間パスポート（購入日より1年間有効）2,000円

交通案内 JR 富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ」経由萩の島循環または「ファボーレ」経由速星行き（休日のみ）に乗りし「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR 速星駅より車で約8分